

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

令和5年第36週(9/4~9/10)【COVID-19情報】

令和5(2023)年9月14日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- ・滋賀県の定点あたりの報告数は16.03で、前週と比べて横ばいとなっています。保健所別では草津、東近江、長浜保健所圏域で前週より増加しています。年齢別では、10歳未満、10歳代で増加しています。70歳以上で減少傾向が見られます。
- ・小中高等学校で2学期が始まったこともあり、学校欠席者情報収集システムにおいても報告数が増加しています。10歳未満、10歳代の感染動向に注視するとともに、他の年代に拡がらないよう咳エチケット、手洗いをする、換気をするなど基本的な感染対策をお願いします。

2. COVID-19の定点当たり報告数(全国は前週)の値

定点当たりの報告数とは、定点医療機関からの1週間の報告数を定点医療機関数(COVID-19は60)で割った値のことで、1医療機関当たりの報告数のことです。(例:1週間の報告数200 ÷ 60 ≒ 3.33)

疾病名	滋賀県			保健所別							全国(前週)
	2週前	1週前	今週	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
新型コロナウイルス感染症	15.97	15.33	16.03	21.92	13.46	8.71	18.20	14.57	17.43	9.50	20.5

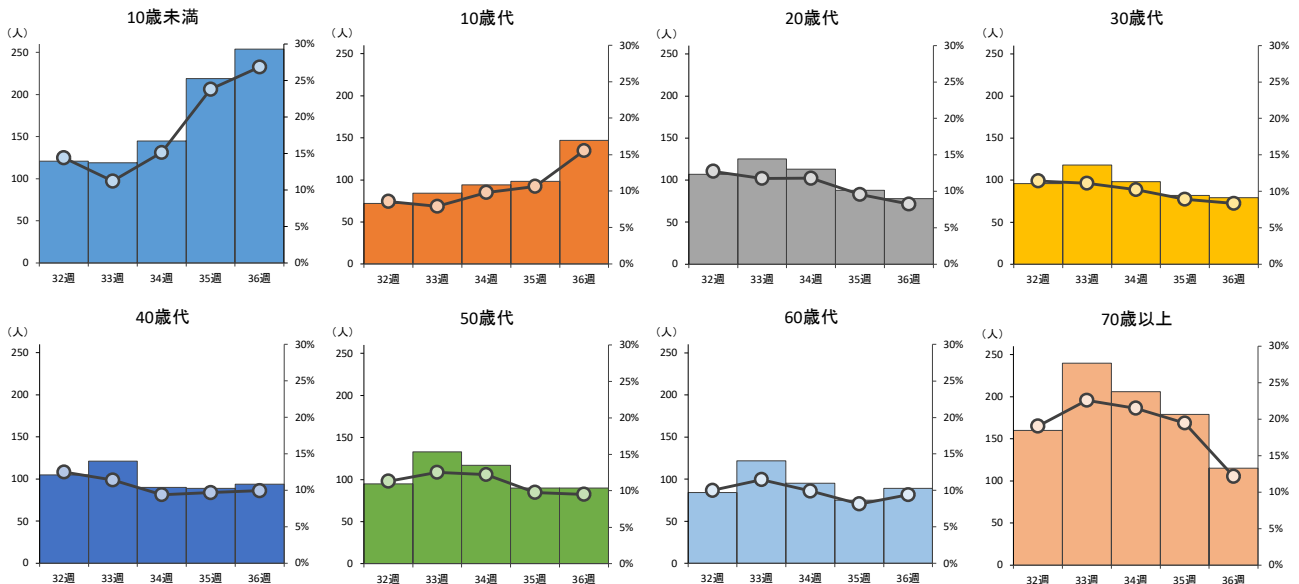
3. COVID-19の年齢階級別報告数(滋賀県、今週)

「-」:報告なし

COVID-19定点	総数	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳~
滋賀県(60医療機関)	946	16	10	28	13	21	22	20	34	42	22	26	97	50	78	79	94	90	89	48	67
大津市保健所(13医療機関)	285	4	1	2	4	3	3	4	4	3	4	5	32	26	27	36	27	39	27	18	16
草津保健所(13医療機関)	175	4	1	7	3	3	8	4	2	9	6	3	21	10	16	14	23	17	12	6	6
甲賀保健所(7医療機関)	61	1	1	2	-	1	-	1	1	3	3	-	1	1	4	3	7	9	8	8	7
東近江保健所(10医療機関)	182	1	3	10	6	9	5	5	20	16	6	8	20	6	8	7	17	12	14	5	4
彦根保健所(7医療機関)	102	-	-	2	-	2	3	2	1	-	1	2	8	5	11	11	13	11	15	5	10
長浜保健所(7医療機関)	122	6	2	5	-	3	3	4	6	11	2	8	14	1	11	6	6	2	11	5	16
高島保健所(3医療機関)	19	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	2	1	-	2	1	8

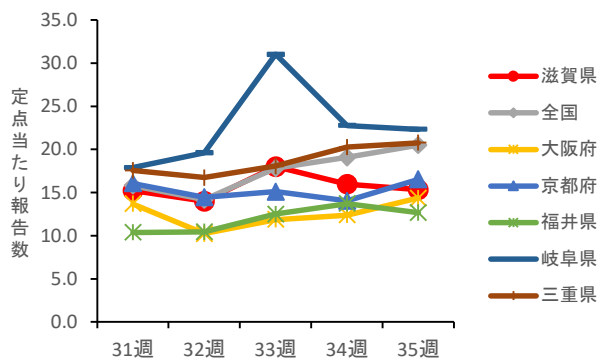
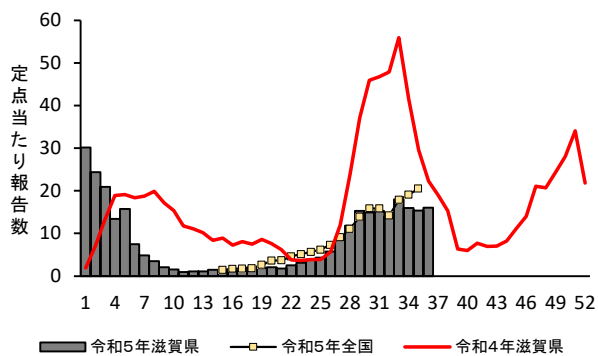
4. COVID-19の年齢階級別推移(滋賀県)

棒グラフ(左軸):報告数(人) 折れ線グラフ(右軸):全年齢に占める割合(%)

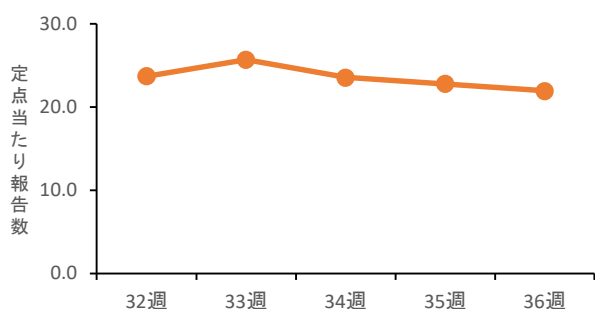


※第36週(今週)の定点数は、滋賀県59医療機関、高島2医療機関となっています。

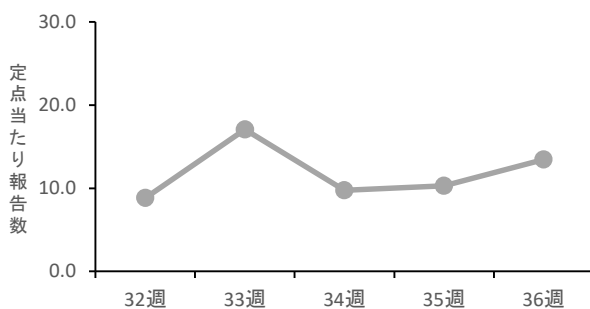
5. COVID-19の発生動向・保健所別推移等 (全国・他府県は前週まで掲載)



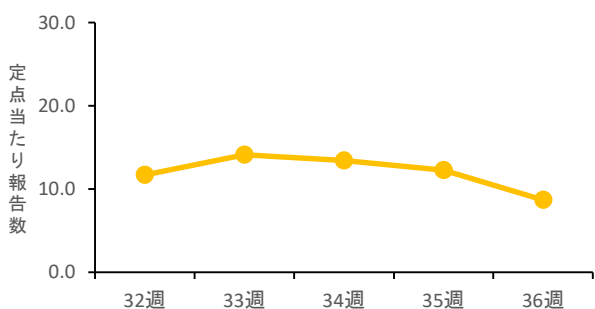
大津市



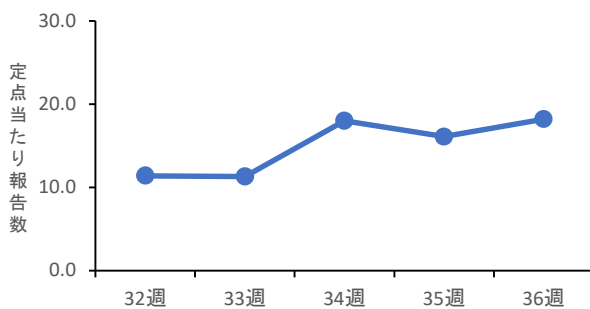
草津



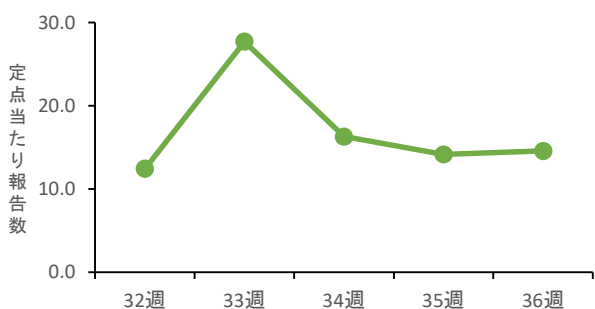
甲賀



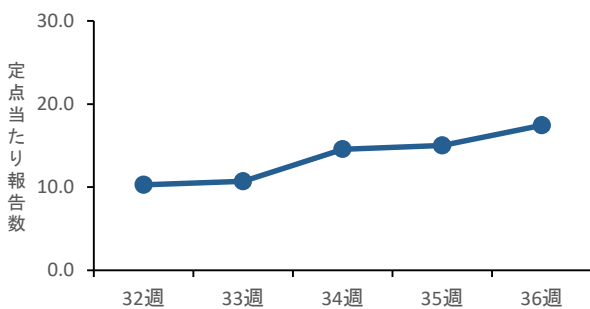
東近江



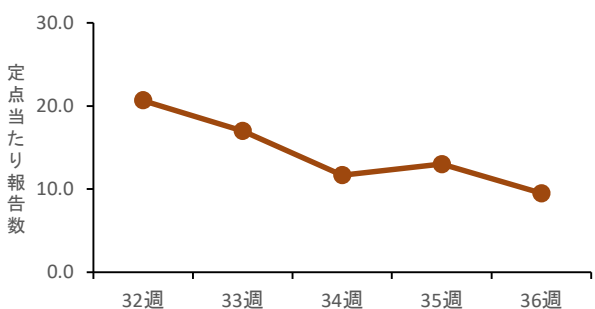
彦根



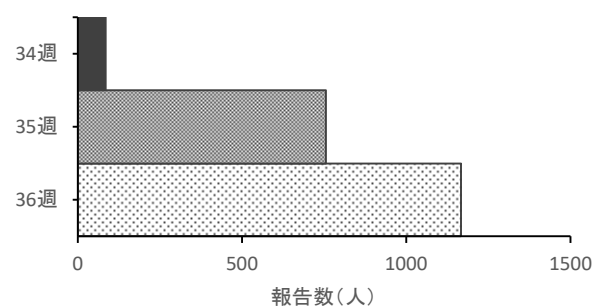
長浜



高島



学校欠席者情報収集システム(滋賀県)



変異株にかかるゲノム解析状況について

健康危機管理課作成
9月10日時点

- 世界的にはEG.5系統が26.1%、XBB.1.16系統が22.7%、XBB.1.9.1系統が13.2%、XBB.1.5系統が10.2%を占めている。(WHO COVID-19 Weekly Epidemiological Update Edition 158 published 1 September 2023)
- 全国的にはEG.5系統が増加傾向にあり、滋賀県でも令和5年6月に検出された。
- 滋賀県では、令和5年8月時点ではXBB系統が全体の79.3%(うちEG.5系統は24.4%、XBB.1.9.1系統は21.6%、XBB.1.16系統は11.7%、その他XBB系統は21.6%)を占めており、感染の主流系統となっている。
- WHOは、XBB.1.9.2系統の一種であるEG.5系統を注目すべき変異株として指定したが、現時点で、重症度への影響、感染性、治療薬への影響などの臨床的、疫学的な知見は得られていないことから、今後の国内外での検出状況、感染者数、重症者数の推移を注視する必要がある。(新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の変異株 EG.5.1 系統について(国立感染症研究所),令和5年9月7日)また、BA.2.86系統について、30か所を超えるスパイク変異を持つため監視中の変異株として指定された。現時点で日本1件検出が確認されたが、変異部位の多さによる免疫回避能力の強さ等において今後の動向に注意が必要である。(世界の新型コロナウイルス変異株流行状況(東京都健康安全研究センター),令和5年9月8日)

ゲノム解析結果(検体採取日別 月報)

